

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
放課後等デイサービスエー		8年 3月 1日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	4	5	活動などはエリア分けをして、対応している	民家をリフォームした作りで老朽化が進んでいる。
	2	7	2		適切な人数を配置しているが、利用者の状況に対して、もう少し多く配置したいことがある
	3	6	3	障害特性に合わせた工夫は必要ではあるが、利用者に合わせた支援は出来る範囲で行えている。	バリアフリー化が難しい。
	4	4	5	ソファなどの活用でゆっくりと過ごせるスペースづくりをしている	
	5	8	1	個別の部屋は準備できていないが、状況に応じて個別で対応できる部屋はある	
業務改善	6	9	0		
	7	6	1		
	8	9	0	毎月1回の職員会議と1~2回の支援会議、週1回の週案会議などがあり、意見の吸い上げはされている	
	9	3	3		外部評価を行っていない。
	10	9		法人研修を始めとして、部内の中で現在の課題にスポットを当てた部内研修を行っている。	職員が少ない為、外部研修に参加できる機会が少ない。
適切な支援の提	11	7	2	ホームページでの公表と、玄関の掲示、公表時の配布を行っている	
	12	8	0	中高生など自分の思いが伝えられる利用者には、どんなことを望むかを聞き取りを行っている	
	13	8	0	支援職員の聞き取りを十分に行いながら、支援内容、優先順位や最善の方法を検討して計画している。	
	14	9	0	計画案を職員間で協議した後に、計画を作成している。	個別の計画書は綴じて閲覧できるようにしているが、周知できているかと言われると職員に任されている。
	15	6	1	日常の様子は、記録に残し、共有できるようにしている。	インフォーマルなアセスメントまでは到達していない。
	16	8	0	現状を踏まえて支援内容を具体的に設定している。	
	17	8	0	週1回行っている。	
	18	7	1	工夫している	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8	0	小集団、グループ、個別などを組み合わせた計画を作成している	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	2	打ち合わせを行っている。	役割分担は出来ているが、支援方法や支援内容がもう少し具体的にできるとよい
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	3		送迎などで人が不足するため、支援終了時に時間が取れる状況ではない。振り返りは次の日になることが多い。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0	記録している	改善につなげられていない。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0	毎月モニタリング会議を実施し、ケース担当者が必要に応じて机上に挙げて、検討と見直しを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6	1	行っている	4つの基本活動を知らない職員がいる
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	0	中高生が多いこともあり、自己決定を行う場面を作っている	不十分と思っている職員がいる
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0	状況に応じて、対応職員を決めるなどの工夫を行っている	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0	連携はしている。	体制としては整備していない
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9		連携している。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	2		相談を通じての情報しか取れておらず、保育園等とのつながりが持てていない。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	0	学校に必要なに応じて情報を提供している。必要に応じて会議にも参加している。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	2	同じ法人内にあり、研修などの案内や連携を取っている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	6	地域資源の活用で行っている。	その場での交流となり、目的意識を持った連携までは至っていない。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	2	参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	連絡帳やメールなどを活用して連携している	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	1	情報提供を行っている。	保護者連絡アプリを使用することで、職員への周知ができていなかった。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0	契約時や変更時に行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0	保護者の意向や子どもの思いを盛り込むようにしている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8	0	長期休みのみ利用される方の計画は状態が変化するため、協議の上でアセスメントを2か月前に行い、計画を作成するようにした	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0		定期的な面談は行なっているが、十分とはいえない。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	6	2	まつりと題して、保護者や兄弟の交流できる行事を計画した。好評であり、今後も継続していく	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	0	月1回の通信を行っている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0	あいうえおパッドの活用をしていたり、現在はタブレットの活用を検討している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	7	法人のまつりの中で、えーるとして日頃作成している物の販売等を行った。	法人としては行なっているが、事業所としては行なえていない。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0	マニュアルの策定をし、訓練を実施している。	様々な想定ができていない。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0		訓練を行っているが、机上訓練が多く、実際の動きまで至っていない。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	0	状況を確認している。	てんかん発作時の薬の投与について、保護者を招いて周知予定。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	0		アレルギーは確認しており、配慮はしているが、医師の指示書をもらっていない。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	0	安全点検は毎月行っている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	2		家族への周知は出来ていない。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0	行っているが、リスク管理の観点から、もう少しヒヤリハットが上がってくるのが望ましい。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0	法人研修、部内研修などを通じて、抜けの内容に研修ができるようにしている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0	重度心身障害の身体拘束を行う場合がある。なるべく拘束時間が少なくなるように工夫をしている。		